

日本高齢者虐待防止学会
**第11回日本高齢者虐待防止学会
横浜大会 ご案内**



◆大会テーマ：『**高齢者虐待と家族支援**』

後援：神奈川県、神奈川新聞、社団法人日本社会福祉士会、
神奈川県社会福祉協議会、横浜市

ご挨拶 大会長 **副田あけみ**(関東学院大学)

第11回日本高齢者虐待防止学会横浜大会を、関東学院大学で開催させていただくことになりました。大会テーマは「高齢者虐待と家族支援」です。

高齢者虐待防止法は、虐待は介護ストレスによるものという介護負担説に立っており、養護者の介護負担軽減の支援を行い、養護者に対する支援等の施策を促進することで、高齢者の権利擁護に資することを目的としています。

しかし、養護者に対する支援等の施策が進展しているようには見えません。また、実際には、介護に加え、養護者、すなわち、家族員自身が抱えるアルコール依存症やその他の精神疾患、失業、貧困、孤立など多様な問題の重なりによって虐待が生じている事例や、そうした多問題を抱えた家族員が介護を要しない高齢者を虐待する事例など、介護負担や介護ストレスが虐待の主な原因とは言いがたい事例も少なくありません。こうした事例では、高齢者だけでなく家族員自身がさまざまな支援のニーズを抱えています。

高齢者の権利擁護に資するための養護者(家族員)への支援とは何か、実践と政策において、何をどこまで、どのように行っていくことなのか。横浜大会では、こうしたことをさまざまな角度から、みなさんと考えていきたいと思えます。もちろん、家庭における虐待だけではなく、施設内虐待についても分科会等において議論していきます。

前日には、大会実行委員会と理事会企画のワークショップを2つ開催いたします。横浜はもちろん、鎌倉、逗子、横須賀など、会場の周囲にはたくさんのお見どころがあります。学会終了後の日曜日にはぜひ、これらの観光地をお楽しみください。実行委員一同、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

なお、特別講演(講師:信田さよ子氏)には、横浜市にお住まいの一般市民の方もご自由に参加できます。

第11回日本高齢者虐待防止学会 横浜大会

大会テーマ：**高齢者虐待と家族支援**

◆7月4日(金) 14:30～16:30

ワークショップ(関東学院大学関内メディアセンター)

受付:13:40～

開始:14:30

* 「認知症ケアの最前線」(講演とワークショップ)(定員120名)

講師:遠藤英俊(国立長寿医療研究センター内科総合診療部)

* 「高齢者虐待事例への面接技術」(ワークショップ)(定員60名)

講師:長沼葉月(首都大学東京)

◆7月5日(土) 9:30～17:10

大会(関東学院大学金沢八景キャンパス)

受付:8:40～

開始:9:30

9:30～9:40 日本高齢者虐待防止学会理事長挨拶:池田直樹(大阪アドボカシー法律事務所)

9:40～10:25 大会長講演:「高齢者虐待防止と家族支援」 副田あけみ(関東学院大学)

10:30～12:00 特別講演:『**家族の暴力**』**に向き合う援助職** 信田さよ子

(原宿カウンセリングセンター所長)

主著:『母が重くてたまらないー墓守娘の嘆きー』(春秋社)、『DVと虐待ー「家族の暴力」に援助者ができることー』(医学書院)、『共依存、苦しいけど離れられない』朝日文庫) 他多数。

12:10～13:00 昼食・総会 (学会員は昼食をとりながら総会参加をお願いします)

12:10～13:10大会特別企画 映像による虐待予防研修:愛知県の取組

(昼食をとりながら視聴できます)

13:15～15:00 シンポジウム:「**高齢者虐待防止における家族支援とは?**」

シンポジスト:堀越栄子 (日本女子大学)

:松下年子 (横浜市立大学)

:玉井理加 (国分寺市地域包括支援センター(国分寺市福祉保健部
高齢者相談室))

コーディネーター:副田

15:15～17:10 自由研究報告(口演)

15:15～17:10 分科会1 :「**養介護施設内の虐待防止に向けて**」

報告者:土屋典子 (立正大学)

関口敬子 (社会福祉法人えがりて吹上苑)

川村哲穂 (富士市福祉キャンパス)

司会 : 雨宮洋子 (総合ケアセンター泰生の里)

15:15～17:10 分科会2 :「高齢者虐待防止に向けた市町村の取り組み」
報告者：高見靖雄（東浦高齢者相談支援センター）
中野佑介（藤沢市行政総務課）
土屋幸己（富士宮市福祉総合相談課）
司会：前神有里（一般財団法人地域活性化センター愛媛県東京事務所）

15:15～17:10 法制度推進委員会」

15:15～17:10 論文作成相談コーナー

15:15～17:10 テーマトーク①:「分離判断と養護者(家族)支援」
ファシリテーター：松本葉子（田園調布学園大学）
テーマトーク②:「事実確認がしづらいケースへの対応」
ファシリテーター：藤井日向（立川市にしき福祉相談センター）

15:15～16:15大会特別企画 映像による虐待予防研修:愛知県の取組

17:20～19:00 情報交換会

★ワークショップと大会の参加費、および申し込み開始日・締め切り日:

<7月4日ワークショップ> KGU 関内メディアセンター

<http://media.kanto-gakuin.ac.jp/koutsuu.html> 〒231-0011横浜市中区太田町2-2-3

参加申し込み	会員	非会員
11月11日より開始。定員になり次第終了	1,000円	2,000円

<7月5日大会> 金沢八景キャンパス

<http://univ.kanto-gakuin.ac.jp/> 〒236-8501 横浜市金沢区六浦東1-50-1

参加申し込み	会員	非会員	学生・院生	シニア	情報交換会	弁当
11月11日より6月15日まで	5,000円	5,500円	1,000円	1,000円	3,000円	800円
当日参加	5,500円	6,000円	2,000円	2,000円	—	—

★各種申し込みおよび自由研究報告のエントリー方法:

日本高齢者虐待防止学会のホームページ (<http://www.japea.jp/>) から横浜大会のHPに入るか、横浜大会のサイト (<https://sites.google.com/site/11thpea/>) に直接入り、申し込んでください。

★自由研究報告のエントリー締め切り日(口頭発表15分、質疑応答5分):平成26年4月20日

★自由研究報告の抄録原稿提出締め切り日:平成26年5月7日

★抄録原稿の提出先: 関東学院大学副田研究室横浜大会事務局 kantogakuin.ea@gmail.com

添付ファイルでお送りください。抄録原稿のフォーマットはHPからダウンロードしてください。自由研究報告は口演のみでポスター発表はありません。

★参加費および懇親会費等の振込先: ゆうちょ銀行 記号10230 番号10228691

加入者名: 日本高齢者虐待防止学会横浜大会。(他の金融機関からの振込の場合は、店名〇二八 店番028 口座番号1022869)。**参加費等の振込を確認した時点で申し込み完了とさせていただきます。**

★お問合せ先: kantogakuin.ea@gmail.com fax 045-786-9472

★横浜近辺にはホテルは多数あります。早めにご予約ください。宿泊先の手配はいたしません。

～～金沢八景キャンパスへのアクセス～～

横浜駅から京急本線快特で19分、3つ目の駅、金沢八景で下車
徒歩15分(もしくは、京浜急行バス:関東学院循環で「関東学院正門」下車



～～自由研究報告発表募集～～

- * 発表形式：口演 発表時間**15分**、質疑応答**5分**
パワーポイントを使用し、操作は各自で行ってください。パソコンは事務局で準備します。ポスター発表はありません。
- * 必須条件：筆頭発表者は本学会会員に限ります。発表は、**1人1報告のみ**です。
- * 申込方法：日本高齢者虐待防止学会のホームページ (<http://www.japea.jp>) に掲載されている第**11回**日本高齢者虐待防止学会横浜大会のホームページから、自由研究報告申込書ならびに、抄録原稿のフォーマットをダウンロードし、第**11回**日本高齢者虐待防止学会横浜大会事務局 (kantogakuinea@gmail.com) まで添付ファイルでお送りください。
その際、メールとファイルタイトルは、「自由研究報告申込書 (氏名)」ならびに「自由研究報告抄録原稿 (氏名)」として下さい。
- * 申込締切：自由研究報告申込書は、平成**26年4月20日**
自由研究報告抄録原稿は、平成**26年5月7日**
- * 抄録原稿受理後にメールにて受理通知をお送りします。受理通知が届かない場合は、ご連絡下さい。
- * 抄録原稿作成要綱
 - ・ **A4**1枚、そのままの大きさをオフセット印刷しますので、規定の枠内に印字して下さい。
 - ・ 演題名は**12**ポイント、氏名・会員番号・所属・本文は**10～11**ポイントの **MS** 明朝で記述して下さい。
 - ・ 本文は**2段**組みとしますが、文字数、行間などは特に指定しません。
 - ・ 原稿の作成は、目的、方法、結果、考察及び結論の順を原則とします。
 - ・ 個人情報やプライバシーの保護については十分配慮するとともに、抄録にも倫理的配慮について記述して下さい。